さんまる

さんないまるやま　つうしん

三内丸山通信

第65号
平成28年12月9日
青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室
〒030－8540 青森市新町２丁目３－１
ＴＥＬ（017）734－9924
ＦＡＸ（017）734－8280
三内丸山遺跡縄文時遊館
〒038－0031 青森市三内字丸山305
ＴＥＬ（017）781－6078
ＦＡＸ（017）781－6103
URL:http//sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

第四十次発掘調査終了
「溜池状遺構」と埋没した沢を調査

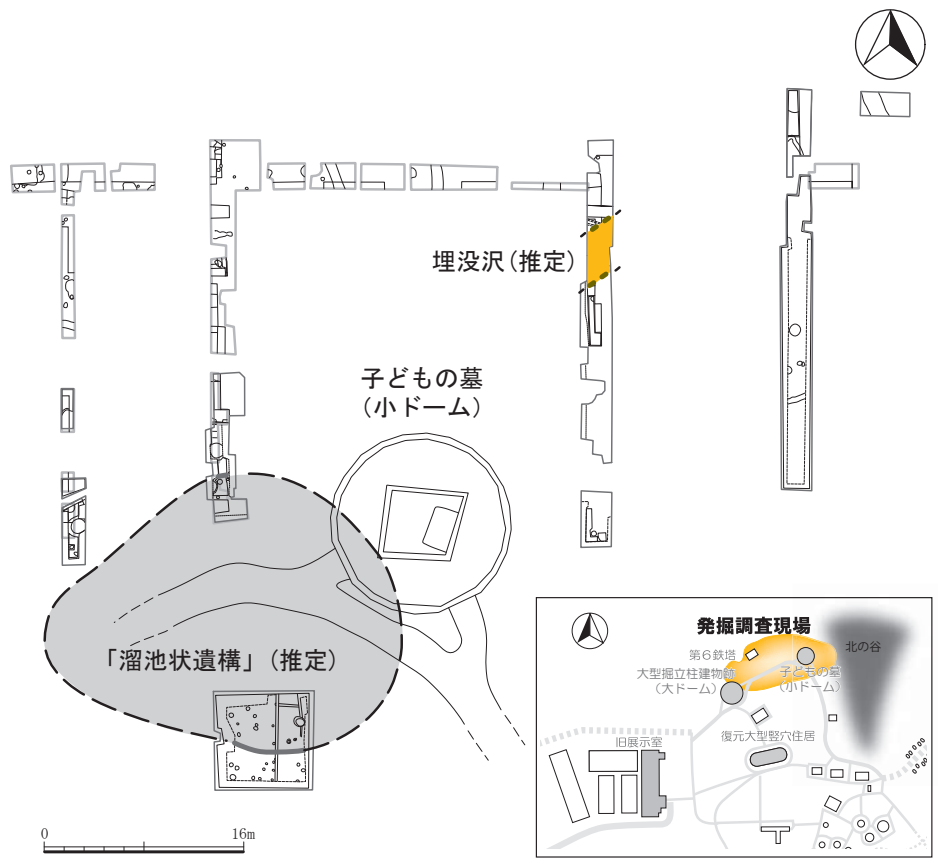
発掘調査が十月十四日に終了しました。今年度は、子どもの墓（小ドーム）付近の「溜池状遺構」やその周りについての情報を得るために、調査を行いました。

「溜池状遺構」ってなんだろう？

遺構とは、昔の人が作った施設のあとで、動かせないもののことです。現段階ではどの程度人の手が加わったかはわかっていませんが、ここでは仮に「溜池状遺構」と呼びます。

「溜池状遺構」に堆積している土の断面を見ると、層が薄く何層も積もっていることがわかりました。また、堆積土の中には砂の層や鉄分を含んだ層もありました。こうした堆積状況から、現代でも見られる「溜池」のように縄文時代に水が溜まったり流れたりしていたことがわかりました。出土した遺物（昔の人が残した土器や石器などの動かせるもの）や堆積土中の炭の年代測定の結果から、縄文時代前期末葉（今から約五千年前頃）に機能し、埋まったものと考えられます。

また、周辺の調査で、この「溜池状遺構」は南北に約二十メートル広がっていることがわかりました。今は平らですが、当時この辺りは大きくくぼんでいたようです。



【第40次発掘調査区　平面図】

周りには何があったの？

「溜池状遺構」の北東側を調査したところ、地面が傾斜して落ち込んで（水流で削られて）いる部分が確認され、縄文時代の埋没した（埋められた）沢があることがわかりました（右下写真）。幅は約五メートルほどあるようです。

この埋没沢の底面からは、縄文時代前期末葉～中期前葉（今から約五千年前～四千八百年前頃）の水流ですり減った土器が見つかったため、この頃までは沢が機能していた可能性があります。埋没沢を埋めている土の一番上からは、中期後葉（約四千二百年前頃）の土器が見つかっているため、この頃には完全に埋められていたと考えられます。

今年度の成果と来年度の調査

このように今年度の調査でも様々な成果が得られましたが、課題も残っています。今年度確認された埋没沢は、どこから流れてきてどこへ流れていくかなど、はっきりとしたことはわかっておらず、「溜池状遺構」と一連のものとして機能していたかどうかを含め、来年度以降も引き続き接続部分や周辺の調査を行う予定です。今年度の調査の成果は、平成二十九年三月十一日（土）の遺跡報告会で発表します。

【埋没した沢と考えられる箇所】

企画展「木からみる縄文の暮らし」

場所：さんまるミュージアム企画展コーナー
期間：３月５日（日）まで

縄文時代、木は道具や建物の素材としてだけではなく、樹皮やウルシの樹液など様々な部分が巧みに利用されていました。本企画展では、三内丸山遺跡や周辺の遺跡で見つかった木の道具や、木を利用した施設の調査時の写真などを展示しており、現在にも続く縄文人の技術を見ることができます。

さんまるジョモリンピック開催

十月十六日、晴れわたるさわやかな天気の中、さんまるジョモリンピックを開催しました。三内丸山遺跡では、はじめてのイベントで、縄文人の生活にちなんだ競技を通して、当時の生活を考えるきっかけとしていただくために行いました。やり投げ、弓矢、土器の水運び、ワラダ投げの四競技があり、参加したジョモリンピアンのみなさんは、楽しく技を競い合っていました。入賞者にはメダルと賞状のほかに、副賞が贈られました。

参加者のみなさま、応援してくれた方々、ありがとうございました。

【入賞者へのインタビュー】

さんまるミュージアム 見学者100万人達成！

平成28年８月９日、さんまるミュージアムの見学者が100万人に達しました。平成22年７月の一般公開から７年目での達成です。

この記念すべき100万人目の見学者は、北東北３県を巡る旅行の最後に訪れたという埼玉県志木市からお越しの関根俊輔さん一家です。記念証とオリジナルグッズなどの記念品を贈呈すると、関根さんご一家は「いろんな土器や石器があってすごい。いい思い出になった」と喜んでいました。

縄文秋祭り　開催

十月十五・十六日に開催された縄文秋祭りでは、縄文時代の疑似体験ができる縄文たいけんウォーキングや弓矢ひろば、自由に笛や太鼓が演奏できるさんまる演奏会などのイベントを行いました。天気にも恵まれ、二日間で三千人以上の方にご来場いただきました。

【大人気の弓矢ひろば】

お知らせ!! 二月　縄文冬祭り

二月十一・十二日には縄文冬祭りを開催します。雪だるま作りやそり遊び、雪を使った縄文体験や発掘体験などのイベントを用意する予定です。お楽しみにお待ちください。

縄文時代の生活や考古学の作業を学ぶ さんまる縄文体験　終了

三内丸山遺跡や縄文文化に触れる「さんまる縄文体験」を今年度も実施しました。夏休みには、「土偶のレプリカを作ろう」と「考古学者になろう」を行いました。「土偶のレプリカを作ろう」では、本物の土偶から型を取り、石膏を流し込んだものに色をつけてレプリカを作りました。みんな本物そっくりの仕上がりになりました。「考古学者になろう」では、発掘調査の方法を学び、実際に土を掘って調査を体験しました。また、自分で発掘した土器や石器の位置と高さを器械で測定する作業も行いました。土器や石器が出てくると、みんな夢中になっていました。

さんまる縄文体験は来年度も実施する予定です。いろいろな体験メニューを企画します。内容や日程はホームページやチラシ等でお知らせしますので、お楽しみに。

【考古学者になろう】

三内丸山遺跡のご案内

休館日
12月30日～１月１日

見学料
無料

開館時間
10月～５月は９時～17時、
６月～９月は９時～18時
（入場は閉館の30分前まで）

さんまるミュージアムの定時案内
10時30分～、13時30分～の２回
（所要時間約20分）

ボランティアガイドの定時案内
１回目は９時15分から（所要時間：約50分）
その後は10時から１時間ごと、最後は16時から
※10月１日～３月31日は15時半最終便
見学お問い合わせ先：017-766-8282
（三内丸山応援隊）

交通機関
□青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場　三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車　料金310円　約30～40分

□ねぶたん号
JR新青森駅東口
三内丸山遺跡前で下車　料金200円　約15分

「北海道・北東北の縄文遺跡群」プロモーション映像配信中

JOMON JAPAN

北海道、青森県、岩手県、秋田県及び関係市町で構成する縄文遺跡群世界遺産登録推進本部では、三内丸山遺跡をはじめ十七の縄文遺跡で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力をわかりやすく伝えるプロモーション映像を制作しました。約一万五千年前に日本列島に誕生し、一万年以上続いた縄文文化。土器を生み、自然とともに生きた世界に誇る独自の文化を今に伝える「北海道・北東北の縄文遺跡群」に触れてください。

映像は下記のＱＲコードを読み取るか、ホームページアドレス（下記）を入力してご覧ください。

アドレス：http://jomon-japan.jp/archives/4864/

【プロモーション映像の一部】

【QRコード】